

タイトル	第37回 沼津市山口源新人賞が決定		
担当	教育委員会 文化振興課		
直通	055-934-4812	内線	2792

1 内容

戦後の日本現代版画界を代表する一人で、本市ゆかりの版画家・山口源を顕彰する目的で設けられた「沼津市山口源新人賞」の第37回目の受賞者が決定しました。

受賞者 (フリガナ)	ノダ チハル		
氏名	野田 千晴		
生年月日	1995年生まれ	24歳	
住所	愛知県長久手市		
職業	大学院生		
受賞作品	・作品名	「皮膚呼吸」(ひふこきゅう)	
	・発表年	2019年	
	・大きさ	89×180 cm	
	・版種及び版材	木版	

2 目的・経緯

本市では昭和55年、沼津信用金庫より文化振興を目的として受領した寄付金1,000万円を原資に、山口源氏の遺作版画を購入しようとしたところ、昭和56年、山口源氏の遺作328点が遺族より市へ寄贈されたため、更に市費1,000万円を加えた上で「沼津市芸術文化振興基金」を設立した。

昭和58年4月、市制60周年を契機として山口源氏を顕彰すること、及び市民の芸術文化の向上発展に資するため、芸術文化振興基金の運用を開始した。以来、「山口源賞」を制定して国内版画界において優れた業績を挙げた作家(作品)に賞を贈呈している。

なお、この事業の一環として日本版画協会展の出品作品から将来性の認められる作品に対し、「沼津市山口源新人賞」を毎年授与している。

3 「山口源」について

1896年富士市で生まれる。本名は山口源吾。1944年に沼津市江浦に疎開し、以来亡くなるまで江浦で制作活動を続ける。戦後は日本の抽象木版画の先駆者の一人として活躍し、1958年スイス・ルガノ国際版画ビエンナーレで「能役者」が日本人初のグランプリを受賞、国際的版画家の地位を不動のものにした。1976年7月永眠、享年79歳。

1995年、山口源氏の版画制作に関する遺品が沼津市に寄贈され、アトリエ跡に「山口源の碑」が建立された。沼津市民文化センター小ホール緞帳には「能役者」の絵柄が使われている。

4 山口源新人賞の特徴

- (1) 美術界において、昭和58年に始まり今日まで続いている沼津市山口源新人賞は、現代日本版画界における若手版画家の登竜門としての地位を確立している。
- (2) 今回の受賞者と作品に関する事項
別紙のとおり

第37回 沼津市山口源新人賞の決定について

○山口源新人賞

1. 受賞者に関する事項（沼津市山口源新人賞1名）
2. 審査評
3. 参考資料

1. 受賞者に関する事項

(フリガナ) ノダ チハル

- ① 氏名 野田 千晴
- ② 年齢 1995年生まれ 24歳
- ③ 居住地 愛知県長久手市
- ④ 職業 大学院生
- ⑤ 受賞作品

- ・作品名 「皮膚呼吸」(ひふこきゅう)
- ・発表年 2019年
- ・大きさ 89cm×180cm
- ・版種及び版材 木版
- ・題名の由来やモチーフ

学部生の頃作品が作れない時期がありました。そんな時、木版画と大山椒魚のモチーフに助けられた思い出があります。そして、4年間の集大成として卒業制作に同じモチーフを選びました。私自身も把握しきれないほどに様々な経験や感覚、取り留めもない知識と願望が入り混じり、多くの意味を含んだ作品になったと思います。

⑥ 受賞のコメント

この度は名誉ある賞に私の作品を選んで頂きありがとうございます。また、受賞に導いて下さった全ての人に感謝致します。制作を続けていたら、遠くにいる大切な方々にもまた会えると信じています。皆さんから笑顔をもらい、励まされながらこれからも制作に取り組んで行きたいです。

⑦ 略歴

- 1995 静岡県出身
- 2014 愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻入学
- 2018 シラパコーン大学(タイ)に留学
- 2019 愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業
愛知県立芸術大学大学院 美術研究科油画・版画領域 入学

【公募展入選歴、奨学金等】

- 2018 第39期 国際瀧富士美術賞特別賞
- 2019 平成30年度長久手市長賞
神山財団芸術支援プログラム奨学第6期生

2. 審査評

作品名 〈 夜を歩く 〉
84.9×113.0cm 木版

沼津市山口源新人賞受賞作品

野田千晴
「皮膚呼吸」

沼津市山口源新人賞の受賞作品は、野田千晴さんの「皮膚呼吸」が選ばれました。見るものをびっくりさせるような横長の大きなサイズは、存在感があり、元気で伸び伸びとした、若々しさを感じる秀逸な作品だと思います。大胆な構図、木版のシンプルな白黒のインクが上手くオオサンショウウオのフォルムひきたてています。生物の観察も良く出来ていて、両生類の皮膚のヌメヌメした表現やヒダヒダの形が、リアリティを与え、作品を特徴づけしています。しっかりとインクが紙に乗っているのに対し、地の部分の木版画の独特の掠れが画面に奥行きを与え、空間を演出している不思議な作品です。

タイトルの「皮膚呼吸」は、モチーフを普遍化しようとしているのか、クールな一面も垣間見る事ができます。

2019年9月25日
審査長・近藤憲昭

※本公募展は作品のサイズによりA部門（額外寸が75×60cm以上200×200cm以内）
B部門（75×60cm未満）に区分されている。

3. その他

令和2年2月1日（土）～23日（日）まで、沼津市庄司美術館において、今回の受賞作品も含めた歴代の大賞、新人賞受賞作品を展示する「山口源賞展」を開催予定。また、2月1日（土）オープニングにて、平成30年度、令和元年度の沼津市山口源新人賞授賞式を開催する予定。

4. 参考資料

受賞作品 「皮膚呼吸」 作者 野田 千晴

版種 木版 制作年 2019年 89×180cm

